

# 野ばら 12月号



## クリスマス 贈るのは愛

校長 夏見隆晴

2015年も、「クリスマスの集い」をもって、日ごろのご加護を神様に感謝しながら終わられることを喜んでおります。4月に迎えた中学1年生も、しっかり成長して本校の生徒らしく日々を送ってくれています。そして高校3年生は将来の進路をしっかりと見据えながら、受験勉強に真剣に取り組む毎日です。そんな姿を眺めていると、この子らこそ、神様からわたしたちに送られた愛の贈り物であるということを感じさせられます。

神様はわたしたちに喜びを与えるため、ご自分の喜びに与らせるためにこの世での生を、わたしたちに与えてくれたのです。確かにわたしたち人間が生きていくということは、それほど簡単なことではありません。むしろ辛く苦しいことの方が多いと感じられるかもしれません。でもそれは、神様の意地悪ではありません。神様はわたしたちの親なのです。親なら、愛の鞭をくれることもあるのです。わたしたちはすでに多くの悩みや苦しみが、親子の関係を強固なものにしてくれるということをも体験しています。

ところでクリスマスという行事は、日本でも、神様のわたしたち人間に対する愛を実感できる行事となって、祝われています。わたしたちは、愛する人ができると、その人に贈り物を届けたいと望むようになります。どのような小さな贈り物であっても、その選択には愛がこもっているととってもよいでしょう。クリスマスは、人を愛すること、そして人から愛されることの意味について考える良い機会でもあるのです。

さて、クリスマスにプレゼントをするという風習の始まりは、サンタクロースの物語にみることができます。それは今から1700年近く前の、今のトルコにあったパタラという町から始まります。パタラは古代ローマ帝国の地中海に面した小さな町でしたが、そのキリスト教の教会で結婚式を挙げた若いカップル、テオファネスとヨアンナに男の子が生まれて「ニコラス」と命名されましたが、その意味は「庶民の勝利者」で、権力を振るう政治家や貴族たちと戦って勝利して欲しいという願いからの命名でありました。その願いは、本当に貧しく困窮している人々への援助という形で実現しました。かれこそ、司教サンタ・ニコラスであったのです。そして、その後を継ぐ多くのサンタ・ニコラスの誕生と相成ったのです。つまり、サンタクロースです。

ただ、聖(サンタ)ニコラスはすべての子供を愛していたのですが、全員の子供に贈り物をしたわけではなかったと言われています。贈り物を貰えるのは、日ごろから行いを善くし、神さまを信じ神さまの望みを行い、神様に祈りを捧げることのできる子供たちだけであったようです。また悪いことをした人でも心の底から悔い改めた人たちには、優しい目を向けていたようです。さて、わたしたちも聖ニコラスになれるでしょうか。



## 「先の先の先」

佐野 聡史

小さい頃はおとなしい子どもであった記憶があります。魚が好きで、図鑑の絵を写し紙に書き写し、色を塗るのが好きでした。活発な兄に「弟がおまえじゃなければ良かったのに」と言われても平気でした。なぜなら兄よりも図鑑の方が好きだったので…。

ある日、学級内でイザコザがありました。おとなしい私は「何も起きないでくれれば」と思っていました。なぜか自分に矛先が向いたのです。文句を言われ、けなされ、胸を手で押された気がします。

今までであれば言われても穏便に済むことを選んでいた私でしたがそのときはなぜか「カチン」ときたのです。文句を言っていた相手を押すと思いの外、軽いのです。

そして相手は私のことを怖がりました。

「アレ?オレハツヨイノカ…?」

中学高校に進学し、部活動に熱を入れるようになりました。毎日がバレーボール中心です。バレーボールさえできれば良いのです。しかし、練習しても勝てない相手校があります。もちろん全国大会など手が届きません。どれほどの時間をかけても、情熱を注いでも勝てないのです。

「アイツラドンダケ練習シテルンダ?ナゼ勝テナイ?意味ナクッタノカ…?」

大学では弱小ながら体育会の主将になりました。ゼミ長にも選ばれました。人から相談を受けます。組織を切り盛りするようにもなりました。他の体育会からも一目置かれます。教授にかわいがってもらい、卒業後の就職先に推薦してもらいました。

教員になって初めて感じたのが

「マズイ、マズイ、何モ知ラナイ。コノママデハ教員ヲ続ケルコトガデキナクナッテシマウカモ…。オレハ何ヲヤッテキタノダロウ。」

やりたいことをやりたいようにやってきたことを後悔しました。それからの約10年間は部活動顧問と勉強のやり直しに必死でした。生徒の必要とする知識は何か?部活で強くするためにはどうしたらよいか?毎日、毎日、部活と勉強に向き合っただけという間に時間が過ぎました。

無駄な学生生活をしていて後悔して反省した私ですが、ふとした時に気づいたのです。

「自分はできると考えることは悪いことではなかったかも。だって自信がなければ何もチャレンジできないよ。あれ?部活動を一生懸命やったことは結果が出なくても良かったのじゃないかな。懸命に努力したからこそ言える言葉があるじゃないか。この数年努力したからこそ生徒は授業を聞いてくれたじゃないか。あれ?やってきたことは間違っていなかったのか??」

なにを伝えたいかわかってもらえたでしょうか?

今していることの結果は今では出ません。今、していることの結果は必ず自分の将来につながります。

良いことも悪いことも…。

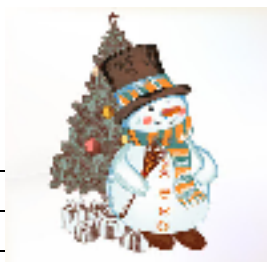
ぜひ、みなさんには「学生時代は〇〇だったから今の自分がある。」と言い切れる人になってほしいと思います。

まだまだゴールは先の先の先。

## 体育祭でのご協力ありがとうございました!!

11月23日(土)に行われました第3回体育祭には、多数のご来場を賜り、盛大なうちに終了することができました。特に今回は駐車場に制限がある中、駐車場の整理係をお受けいただきました方々の献身的な働きにより、大きなトラブル無く、円滑に無事行事全体を進めることができました。紙面をお借りいたしまして、御礼申し上げます。今後とも皆様のご協力、宜しく願いいたします。

# 12月の予定



日・曜日	行事計画
5日(土)	クリスマス会活動(中1~高1)、授業(高2、高3)
7日(月)	高校3年生授業終了
8日(火)	高3卒認試験 ~11日(金)
9日(水)	第4回定期試験 中学生(9日~10日) 高1・高2(9日~11日)
12日(土)	総合
14日(月)	答案返却日
15日(火)	高3:センタープレ
18日(金)	<b>卒業再認試験</b>
19日(土)	クリスマスミサ 聖誕劇 クリスマスキャロル 17:30 (パレット久茂地前)
22日(火)	生徒集会 8:05開始 大清掃 学級指導
23日(水)	冬期講座 ~28日(月)
24日(木)	冬期休業 1月6日(水)まで

※2016年1月7日(木) 生徒集会 8:05講堂 授業開始

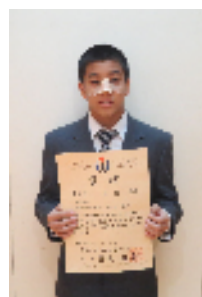
## 生徒の頑張り!



### 第67回県民体育大会体操競技中学男子の部で中田 海斗君(中2)が個人総合2位!

11月22日(日)に県総合運動公園体育館にて第67回県民体育大会体操競技が行われました。中学男子の部で、本校中学2年A組の中田海斗くんが見事、個人総合2位に輝きました。

おめでとうございます!!



中2 中田 海斗くん

### 人権作文コンテストで、外間 光さん(中3)と富川 真由さん(中3)が会長賞受賞!!

第35回全国中学生人権作文コンテスト沖縄大会にて、中学3年生の外間 光さんと富川 真由さんの2名が沖縄人権擁護委員協議会長賞を受賞しました。

おめでとうございます!!



### 体育祭の50M走決勝で、女子1位に桂 美貴さん(高3)が、

### 男子1位に式田ダリウスくん(高3)が輝きました!!

11月23日(月)に行われました体育祭で、50M走決勝で女子の部では高校3年桂 美貴さんが、男子の部では高校3年式田ダリウスくんが1位に輝きました。尚、式田ダリウスくんは3連覇、桂美貴さんは2連覇ということで、その功績を称え、生徒会より王冠も授与されました。

おめでとうございます!!



### 軽音楽部6名が Fighting of Music 2015 で予選通過し、本選出場が決まりました!!

11月28日(土)に浦添市男女共同参画推進ハーモニーセンターにて『Fighting of Music 2015』が行われ、19団体出場の中、本校軽音楽部が7枠内に選ばれ、予選通過を果たしました。尚、12月26日(土)の本選への出場が決定しています!!

《軽音楽部出場メンバー》

高1:石川 勇太、宮城 勇佑、城間 紀孝、星野 尚規、新里 香琳

中2:渡名喜 ちみ



引き続きの応援よろしくお願いします!!

### 赤い羽共同募金のご協力ありがとうございました!!



本校では、募金活動を通して地域のさまざまな人々への暮らしに触れ、「人を支える喜び」を学び、優しい思いやりの心を育てる目的で、11月16日(月)~11月20日(金)まで、校内募金活動が行われました。また、福祉委員とボランティア部は11月18日(水)にサンエー真栄原食品館とタウンプラザ沖国大前店にて街頭募金活動も行いました。その活動を経て、11月27日(金)に全体朝礼の場で、募金箱の贈呈式を持ちましたのでご報告と、ご協力の感謝を申し上げます。

《校内募金活動》

募金合計額 28,980円

《街頭募金活動》

募金合計額 14,564円

ご協力ありがとうございました!!



左:宜野湾市共同募金委員会副会長 赤嶺 京子さん  
右:福祉委員会委員長 謝花 由紀子さん